

1. 全体の販売概況

開市日 7日(前年比±0日)
入荷量 :44, 955トン(前年:48, 548トン 前年比93%) kg単価 :377円(前年:383円 前年比98%) ※入荷量・kg単価は野菜、果実の合計

主要野菜は、はくさい・キャベツ・ほうれんそう・レタス・きゅうり・さといも・れんこん・こまつな・かぼちゃ・なす・えだまめ・アスパラガスが入荷減単価高となった。

一方で、だいこん・こねぎが前年比入荷減単価安、・トマト・ミニトマトが入荷前年並み単価安、にんじん・ねぎ・ばれいしょ・たまねぎ・ながいもが入荷増単価安となった。

2. 埼玉県主要品目の販売概況(東京都中央卸売市場)

品 目	項 目	9月中旬 東京都中央卸売市場販売実績			今後の見通し (9月下旬～ 10月上旬)		9月中旬 出回り 主力産地			摘 要	
		本 年	前 年	前 年 比	入 荷 量						
小 松 菜	入荷量 (t)	341	462	74%	入 荷 量	→	茨 城	群 馬	埼 玉	9月中旬 結果	茨城産を主力に、群馬・埼玉産が加わる出回りとなった。茨城産は、曇雨天が続いた影響で生育が停滞し、入荷量は前旬と比べて減少した。ほうれん草の入荷量は前年を下回ったものの、前旬並みとなり、単価は前年・前旬を上回った。一方、小松菜は入荷量が減少し量販店からの引き合いが強かったため、相場は急騰した。価格は埼玉産AM袋で、前半70-60円、後半150-130円と強含みで推移した。
	価格 (円/kg)	594	368	161%	価 格	→	70%	15%	8%	9月下旬 ～10月上 旬 見通し	引き続き茨城産を主力に、群馬・埼玉産が加わる出回りとなろう。関東産は、曇雨天の影響による生育停滞が続き、出荷量は横ばいの見通し。一方、量販店からの引き合いは堅調で、品薄感の強い販売状況となる見込み。そのため、相場は高値で推移し、9月下旬の価格は埼玉産AM袋で150-130円と保合となる見通し。
き ゆ う り	入荷量 (t)	1,652	2,270	73%	入 荷 量	↗	福 島	群 馬	岩 手	9月中旬 結果	福島・群馬・岩手産中心の出回りとなった。東北産は、曇雨天の影響と樹勢低下により、入荷量は前旬と比べて減少した。関東産抑制作は、出荷者が出揃ったが、曇雨天の影響による生育遅れから入荷量は前年を下回るものの、前旬より大幅に増加した。総入荷量は前旬より減少し、埼玉産Aコンテナで2,800-2,700円の強含みで推移した。
	価格 (円/kg)	495	448	110%	価 格	↘	30%	14%	11%	9月下旬 ～10月上 旬 見通し	群馬・福島・埼玉産を中心とした出回りとなろう。群馬・埼玉産は、曇雨天の影響により生育が停滞し、抑制作の入荷量が伸び悩んでいる。今後の天候次第ではあるが、出荷量は徐々に増加する見込みで、前年を下回る見通し。一方で、消費地の気温低下に伴い需要が低迷し、荷動きは鈍い見込み。9月下旬の価格は、埼玉産Aコンテナで2,600-2,500円の弱含みで推移する見通し。
な す	入荷量 (t)	756	1,099	69%	入 荷 量	↗	群 馬	栃 木	茨 城	9月中旬 結果	群馬産を主力に、栃木・茨城産が加わる出回りとなった。関東産は、曇雨天の影響により病害や水腐れが発生し、入荷量は前旬を下回り、前年を大きく下回った。品質低下がみられたものの、総入荷量の減少から、相場は群馬産5本袋で180-160円と強含みで推移した。
	価格 (円/kg)	455	425	107%	価 格	↘	52%	25%	10%	9月下旬 ～10月上 旬 見通し	群馬・栃木産を中心に、高知産が加わる出回りとなろう。関東産は、曇雨天が続いたことや成り疲れにより入荷量が減少し、水腐れの発生も続く見込み。今後の天候にもよるが、出荷量の減少や品質低下は徐々に改善する見通し。後続産地である高知産の入荷量も増加する見込みで、9月下旬の価格は群馬産5本袋で160-150円の弱含みで推移する見通し。

3. 今後の見通し

台風25号による千葉県産青果物への被害は調査中で概要が明らかになるのは次週以降となる模様。園場冠水等の被害に加え、長く天候不順が続いており、今月末まで曇雨天が続く予報で秋冬作は病害虫の発生や作柄不良が懸念される。